

平成 29 年度 京都大学図書館機構講演会
「デジタルアーカイブの新たな展開と可能性
－IIIF の動向と活用例から考える－」
実施概要

近年、貴重資料等の高解像度な画像データを、国際的な標準として浸透している IIIF (International Image Interoperability Framework) を利用して公開する機関が増加している。京都大学図書館機構もオープンアクセス推進事業の一環として、IIIF コンソーシアムに参加するとともに、従来進めてきた貴重資料電子化成果の IIIF 対応による公開を進めている。

こうした中、本講演会では IIIF コンソーシアムの活動および IIIF の概要、デジタル画像の共有による研究事例、IIIF の実装例の報告により、デジタルアーカイブを巡る最新の状況を俯瞰する。また、これにより今後の大学図書館におけるデジタル画像の情報発信、研究における活用の可能性、およびデジタルアーカイブの推進の契機としたい。

主催：京都大学図書館機構

共催：国立大学図書館協会近畿地区協会

協賛：デジタルアーカイブ学会、大学図書館近畿イニシアティブ、国立大学図書館協会
学術資料整備委員会

1. 日 時：平成 29 年 10 月 18 日（水）13：15～17：00（受付開始 12：45）

2. 場 所：京都大学附属図書館 3 階 ライブラリホール

3. 対 象：大学図書館職員および本講演テーマに関心のある方（一般公開）

4. プログラム：

12：45	開場・受付開始
13：15-13：20	開会挨拶：松井 啓之 教授（京都大学図書館機構副機構長）
13：20-14：35	基調講演「Introduction to IIIF：Unlocking the World's Digital Images = IIIF 入門：世界中のデジタルイメージを解き放つ」 Tom Cramer 氏（Chief Technology Strategist, Stanford University）
14：35-14：45	休憩
14：45-15：30	講演 1 「日本における IIIF の受容状況と今後の可能性」 永崎 研宣 氏（東京大学大学院人文社会系研究科 人文情報学拠点客員研究員）
15：30-16：15	講演 2 「失われた時のウェブを目指して」 林 晋 教授（京都大学文学研究科）
16：15-16：35	事例報告「京都大学貴重資料デジタルアーカイブの紹介と 今後の展望」 西岡 千文 特定職員（京都大学附属図書館研究開発室）
16：35-17：00	質疑応答
17：00	閉会

* 基調講演には逐次通訳があります。

* 講演会の終了後、講師の方々をお招きして交流会を開催いたします（参加任意）。

時間：17 時 30 分～19 時（予定）

場所：京都大学楽友会館

5. 受講定員：80名（申込先着順）
6. 受講料：無料
 （講演会後の交流会に参加される場合は、3,500円（予定）の参加費をいただきます。）
7. 申込方法：申込用 Web フォームにご記入のうえ、お申し込みください。
 URL <https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/kenshu/?p=4117>
 申込締切：平成29年10月10日（火）
8. 企画：京都大学図書館機構（図書館業務改善推進会議 人材育成部会）
9. その他：
 当日の講演記録について、映像は京都大学 OCW にて、資料は京都大学学術情報リポジトリ KURENAI で保存・公開の予定です。
10. 問い合わせ先：京都大学附属図書館図書館企画課
 e-mail: kenshu-uke660kulib@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp



18 附属図書館

アクセスマップ http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r_y/



楽友会館

アクセスマップ <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/rakuyu/access.html>